



Special Exhibition
特別企画展

鹿児島市立美術館開館70周年記念
没後100年 黒田清輝とその時代

会期
令和6年7月24日(水) - 9月1日(日)

会場
鹿児島市立美術館



《自画像》鹿児島市立美術館蔵

没後100年記念

黒田清輝展

KURODA SEIKI
in Kagoshima

期間 令和6年 7月24日(水) - 9月1日(日)

会場 岩崎美術館、松下美術館、長島美術館
鹿児島県歴史・美術センター黎明館
鹿児島市立美術館

1《婦人背面エチュード》長島美術館蔵 2《夏草》長島美術館蔵 3《秋草》岩崎美術館蔵 4《天女図》松下美術館蔵
5《海》松下美術館蔵 6《京都鴨川》鹿児島県歴史・美術センター黎明館蔵 7《砂浜乾魚》鹿児島県歴史・美術センター黎明館蔵

ごあいさつ

近代日本を代表する鹿児島県の画家黒田清輝の没後100年を記念し、鹿児島県内で黒田清輝作品を所蔵する4館(岩崎美術館、松下美術館、長島美術館、鹿児島県歴史・美術センター黎明館)が連携し、それぞれが所蔵している黒田作品をそれぞれの館で展示し、黒田清輝を顕彰する展覧会を開催します。黒田の生まれた鹿児島を旅するように、美術館を回っていただき、各地の作品をお楽しみください。

なお、同期間中、鹿児島市立美術館では、東京国立博物館等が所蔵する《湖畔》や《読書》などの黒田の名品と関係作家の作品計110点が展示されます。

黒田清輝とは



黒田清輝(1866-1924)は、鹿児島藩士黒田清兼の子として鹿児島市東千石町に生まれました。

幼い頃に伯父で明治政府の高官黒田清綱の養子となり、明治17(1884)年に、法律を学ぶためにフランスに留学しますが、2年後には絵画の道に転向し、巨匠ラファエル・コランに入門しました。本格的に洋画の勉強を始めた黒田の才能はすぐに開花し、サロンで入選するほどになりました。同26(1893)年に帰国すると、明るい外光的表現の作品を発表し、日本画壇に大きな衝撃を与えました。また、洋画グループ白馬会を結成し、《湖畔》《智・感・情》等数多くの傑作を発表し、東京美術学校(現東京藝術大学)でフランスで学んだ美術教育制度をもたらすなどの偉大な功績から「日本近代洋画の父」と呼ばれました。

各美術館(期間中)のご案内

一般財団法人岩崎育英文化財団

岩崎美術館

〒891-0403 指宿市十二町3755
Tel 0993-22-4056 Fax 0993-24-3017



開館時間 8:00 ~ 17:00(入館16:30まで)

休館日 なし

観覧料 一般・大学生 300円
高校生以下 無料

《秋草》は、黒田清輝が愛した婦人を描いた渾身の作品です。日本の四季を萩の花にたとえ、恋する二人の感情が込められた傑作です。

一般財団法人

松下美術館

〒899-4501 霧島市福山町福山771
Tel 0995-55-3350 Fax 0995-55-3351



開館時間 10:00 ~ 17:00(入館16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

観覧料 一般 500円(300円)
大・高生 300円(200円)
小・中学生 200円(100円)

()は20名以上の団体料金

黒田清輝作品2点の他、藤島武二、和田英作、黒田やラファエル・コランに師事した山下新太郎の作品を展示しています。

公益財団法人長島文化財団

長島美術館

〒890-0045 鹿児島市武3丁目42-18
Tel 099-250-5400 Fax 099-250-5478



開館時間 9:00 ~ 17:00(入館16:30まで)

休館日 火曜日(8/13は除く)

観覧料 一般 1000円(800円)
大・高生 800円(640円)
小・中学生 400円(320円)
シニア(65歳以上) 500円

()は20名以上の団体料金
夏休みは小・中学生2割引

植物を愛する黒田清輝が描いた《夏草》を含む4点を展示。藤島武二、和田英作の作品も展示しています。

鹿児島県

歴史・美術センター黎明館

〒892-0853 鹿児島市城山町7-2
Tel 099-222-5100 Fax 099-222-5143



開館時間 9:00 ~ 18:00(入館17:30まで)

休館日 月曜日(8/12は除く)、7/25

観覧料 一般 420円(310円)
大・高生 260円(160円)
小・中学生 160円(80円)

()は20名以上の団体料金

黒田の作品は2点。他に師であるラファエル・コラン、弟子である藤島武二、和田英作、時任鶴熊等の作品を展示しています。